

お名前
薬検花子

問題番号
A-2

(解答一例)

鼻炎用内服薬には、

.....
.....
(1) 抗ヒスタミン成分

.....
.....
(2) 血管収縮成分

.....
.....
(3) 抗コリン成分

.....
.....
などの成分が含まれていることが多い。以下、各々につき具合例
.....
.....
を挙げて説明する。

.....
.....
(1) 抗ヒスタミン成分としては、例えばマレイン酸クロルフェ
.....
ニラミン、
.....
粉やハウニ
.....
トセル)が
.....
そして、并
.....
ンH1受容
.....
どの鼻炎症
.....
体に先回り
.....
ことにより

.....
.....
まれた花
.....
胞 (マス
.....
び出す。
.....
ヒスタミ
.....
づまりな
.....
H1受容
.....
妨害する

.....
.....
(2) 血管収縮成分としては、例えば塩酸プソイドエフェドリン、
.....
.....
塩酸メチルエフェドリンなどが挙げられる。鼻炎によって起こる

お名前

薬検花子

問題番号

A-2

鼻づまり症状は鼻粘膜の腫れが主たる原因である。これは、鼻粘膜に存在する毛細血管が拡張し、粘膜が腫れることで抗原の通過を妨害しようとしているわけであるが、この鼻づまり症状が強くと出ると息苦しく、また集中力が低下するので血管収縮成分による改善を期待したい。血管収縮成分は、アドレナリン作動成分とも呼ばれている。すなわち、交感神経を刺激することにより鼻粘膜の毛細血管が収縮し、腫れがおさまると、そして鼻づまり症状が改善する。

(3) 抗コリン成分としては、、、、(以下省略)、、、。

